



のぎく

だより



“ 今日は何の日? (8/6) ~ 広島平和記念日 ~ ”

1945年(昭和20年)午前8時15分に、広島県広島市に原子爆弾が投下されました。犠牲者の霊を慰め世界平和を祈るために、毎年、広島平和記念公園で「平和記念式典」が開催されます。

「平和への誓い」

被爆50周年(平成7年)の平和記念式典では、広島市長の平和宣言に続いて、初めてこども代表が「平和への誓い」を述べました。これは、「こども平和のつどい」で世界のこどもたちが話し合った結果を平和への決意として述べたもので、翌年以降もこの成果を引き継ぐ「こどもピースサミット」を開催し、「平和への誓い」を発信しています。

※「こども平和のつどい」は、被爆50周年の記念事業として、未来を担うこどもたちが平和への努力を行うために、平成7年7月31日から8月6日まで広島市で開催されたものです。世界の12の国・地域の15都市から194人の小学校5・6年生が参加しました。

「平和への誓い(昨年度)」

私たちに使命があります。あの日、広島で起きた悲惨な出来事。そのことを知り、被爆者の方々の思いや願いを聞き、考え、平和の尊さや大切さを、世界中の人々や次の世代に伝えなければならないのです。昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分。赤く燃え、真っ黒に焼け焦げてボロボロになった広島。 「兄が死ぬより、わしが死んだ方がよかった。」大切な人が亡くなった悲しみと生き延びた者の苦しみには終わりがありません。

心に深く傷を負った被爆者は、それでも前を向き「僕ら若人の力によって、きっと平和な世界を築き上げてみせる。」と決意しました。悲しみや苦しみを抱えながらも、被爆者の方々は生きることを決して諦めず、共に支え合い、広島町の復興に向け立ち上がりました。

本当の別れは会えなくなるのではなく、忘れてしまうこと。私たちは、犠牲になられた方々を決して忘れてはいけません。私たちは、悲惨な過去をくり返してはいけません。

私たちの願いは、日本だけでなく、全ての国が平和であることです。そのために、小さな力でも世界を変えることができると信じて行動したい。誰もが幸せに暮らせる世の中にするのを、私たちは絶対に諦めたくありません。

争いのない未来、そして、この世界に生きる誰もが心から平和だと言える日を目指し、努力し続けます。広島で育つ私たちは使命を心に刻み、この思いを次の世代へつないでいきます。





“ 誕生者のみなさん おめでとうございます ”



木村ミツ様



石垣ミネ様



青山キミ様



島崎 笑様



櫻庭貞恵様



高橋イチ様



“ 今月のご当地グルメ ”



全国のご当地グルメが
食べられるよ！みなさん！
お待ちしております！

瓦そば（山口）
きらすまめし（大分）
そばねっつり（山口）
いり大根（大分）
ざびえる（大分）



七夕御膳

“ のぎくの風景 ～ 運動会・あじさいレールロード植樹祭 ～ ”

